

特集：本シェルジュ6.0——ビジネスのさまざまな悩みにお応えします

第1章 考えが整理できない若手へ ——図解なんて嫌いだ！



安藤 準
埼玉県中小企業診断協会

ザー、ボタンッ！

開いたドアから雨の音が入ってきた。そして、1人の青年も。歳は25くらいだろうか。ストライプネクタイのあどけないスーツ姿だ。

「いらっしゃいませ」

低い声で静かに挨拶するマスター。青年は、マーカーを悔しそうに握りしめている。その濡らした目は、雨のせいだけではなさそうだ。

1. 数時間前の屈辱

くそお…。どうしていいかわからないよ。泣きそうだ…。

東陽介は、イベント運営会社に勤める、入社3年目のサラリーマンだ。このとき、陽介は社内の会議室のホワイトボードの前で、すっかり萎縮していた。

図で示せて、どういうことなんだろう。この先輩、嫌味だし…。でも、この先輩なら、ちゃんと理論的に説明することができるんだろうな。つまり、何もできない自分が情けないだけなのか…。

「で、その根拠は？ ちょっと、そこに図で説明してみろよ」

ええっと…。そうですね…。つまり…。

「お前さあ、言ってることがわけわかんないんだよ。そういうの、イラつくんだよ、ヘッ！」

“ヘッ！”は余計だろ。何なんだよ、その態度は…。

10年目のベテラン、黒縁メガネの先輩が容赦なく追及する。来月に向けた企画を任されたのはよいが、提案・議論の場において何も言えない。

「結局のところ、お前は自分の考えがまとまってないんだろ。だから、言ってることがわけわからないんだよ。もう一度、出直してこい！」

資料とキツイ言葉を投げ捨てて、先輩は出て行った。

図星だ…。自分で認識していたことを他人から指摘されるのは辛い。感覚的な意見はある。でも、それをどう説明したらいいのかわからない。そして、アイデアの根拠や理由がはっきりしない。

陽介はマーカーを握りしめ、悔しさを押し殺しながら帰路についた。その途中でふと、木漏れ日のような温かい灯りに導かれ、小さなカフェに入ったのだった。

「お好きな席へどうぞ」

執事風のマスターの勧めに、陽介は隅にある窓際の席に座った。カフェに入ったものの、飲み物は何でもよい。何か温かいものでも…。

注文をしようと手を挙げると、マスターが静かにうなずいて寄ってきた。トレーにすでに何かを持っている。

「あれ、僕はまだ注文していないですよ」

「いえ、注文されましたよ。その握りしめたマーカーが語っています。つまり…、東様のご注文はこちらでよろしいかと」

マスターは3冊の本を丁寧に置いた。その振る舞いは異様でありながら、どこことなく温かい。陽介は、吸い込まれるように本を手にとった。

(カラー改訂版)

頭がよくなる「図解思考」の技術



永田 豊志 著

KADOKAWA / 中経出版

A5版 200頁

本体 1,500円+税

同時通訳ならぬ「図解通訳」というコンセプトで、「インプットした情報を図解化し、それをメモする技術」をまとめた1冊。これまでの図解術本ではあまり見られなかった、「話を理解しながら同時に図解する」技術を解説。

白いカバーの本。まず「図解思考」という言葉が目飛び込んできた。

「お悩みに合いませんか？」

マスターが、そっと優しく言葉を添える。

少し前まで「図解」という言葉に嫌悪感を持ちつつも、どこかで引っかかっていた。そうだ、僕は「図解」が気になっていたんだ。「図解思考」か。そう言えば、先輩もよく「図で考える」って言うもんな。

「図解思考と図解通訳が、この本の味でございますよ」

マスターの言葉に動かされて、ページをめくった。

2. 図解通訳とは

「『内容を予測し、聴き、理解しながら、リアルタイムで図式化するスキル』。本書では『図解通訳』を、その意味で使うようです」

なるほど、「図解でメモする技術」か…。

図解をただの表現方法だと考えていた陽介にとって、新鮮な発想だった。

「本によれば、さらに『キーワードの箇条書きをやめて、自分の考えを図で整理し、メモとして残す技術』とありますね」

おっと、箇条書きって、まさに僕のことじゃないか。僕の手帳は、いつも箇条書きだ。つまり、それはダメってことなのか？ この本は、僕の心に引っかかっていたことを突いてくる。なにになに…、図解にはさまざまなメリットがあるのか…。

マスターは、そっとページを開いて見せた。

3. 図解思考の6つのメリット

「図解でメモするには、次の6つのメリットがございます」

図解思考の6つのメリット

- ①情報を整理し、スピーディに記録できる
- ②瞬時に全体像をつかめる
- ③ヌケモレ矛盾を発見できる
- ④記憶の定着率が向上する
- ⑤新しいアイデアが生まれやすい
- ⑥すぐにプレゼンができる

たしかに、メモを箇条書きにすると時間がかかるよな。そもそも、漢字の多い日本語って、文字を書くのに時間がかかる。

「時間がかからないだけではありませんよ。『図解通訳の場合は、一度登場した要素に関しては矢印などで関係性を記すだけなので、何度も書く必要がありません』と書いてありますね」

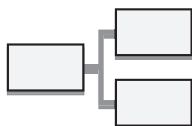
そうか、書いた図をつなげていくことができるから、変化に対応しやすい。まさに、メモに向いてるんだ。さらに、記憶しやすいものもあるかもしれないな。文字ってなかなか印象に残らないけど、図やイラストって記憶に残りやすいから。でも、図解と言っても、僕は絵が苦手なんだよなあ…。

「絵が苦手でも、パターンを覚えれば、ある程度は上達するですよ」

え、そうなの？

4. 図解メモの6つのフレームワーク

「本では、6つのフレームワークで紹介されていますね」



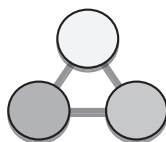
ツリー型



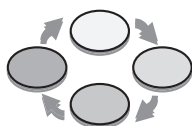
マトリックス型



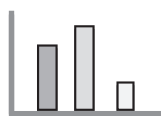
フロー型



サテライト型



サイクル型



グラフ型

本当だ。どれもこれも、よく見るシンプルな図ばかりだ。

「シンプルなものこそ、使いやすいものがございます」

たしかに、6つなら覚えることができ、選択もしやすそうだ。しかし、描き方がわかっても、そもそも描くべきことがまとまらない状態では、何を表現すべきなのか、頭が混乱しそうだ。

「本来は、そのようなときこそ、図解を利用すべきですよ。その点、この本にも書いてありますが、もう1冊の本で見てください」

5. 図解の3つの目的

「こちらの本による図解の目的を見ると、もう少し広い意味で捉えていますね」

外資系コンサルタントの図解の技術



橋本 歌麻呂 著
秀和システム
A5版 160頁
本体 1,600円+税

プレゼンや社内回覧の資料では、文字でびっしり埋まった資料など、内容が良くても誰も読んではくれない。できるコンサルタントは皆、図解を駆使してわかりやすい資料を作るために、さまざまな工夫をしている。本書は、外資系コンサルファームで活躍してきた著者が、美的センスがなくてもできる、矢印やフローチャートを使った「整理図解」のノウハウを公開する。これを身につければ、ビジネスの問題の8割は解決できる！

図解の3つの目的

- ①人に伝わる
- ②考えがまとまる
- ③話がまとまる

そうか。そもそも図解は、説明するためのものだけではなく、自分が整理するためのものにもなるのか。たしかに、図で表現すると、文字だけでは表現できないことも表現できるし、何より理解しやすい。

「さらに、大勢で議論するときには、全員で同じ意識を共有しやすいメリットもありますね。本には『ホワイトボードにささっと図解するだけで議論がまとまる』とあります。そう、たとえば、先輩に説明するときにもね」

陽介は一瞬、動揺してマスターを見上げた。落ち着いたマスターが、さっきの出来事を知っているかのように、少しだけニヤリとした。

でも、どうやって図解したらいいんだろう。フレームワークのことはわかったが、それで自分の頭の中を整理できるのだろうか？

「東様。ほら、ここをご覧ください」

6. 初版はボツになるものと心得よ

本にはこう書かれていた。

『初版はボツになると心得る』

初版はボツって…キツイな。初めからきちんとしたものを作りたいじゃないか。

「その考え方が、むしろ良くないのかもしれないよ」

どういうことだ？ そうか。描くうちにもっと良い表現や追加の図が浮かんでくるものなのか。つまり、初めから良いものを描く発想ではなく、描きながら考えていく発想か。完璧を求めず、とにかく書いてみるのが大事ということか。

「『思考力』よりも『試行力』が必要なんですね」

だから、気軽に落書きがしにくいパソコンは、図解を作るのに適していないことが多いのかな。ただ、ホワイトボードでも、手帳でも、図解メモでも、もっとイラストっぽく描きたいな。何か良い方法はないだろうか。

「そのために、3冊目をご用意しておきましたよ」

どうやら、このマスターはすべてお見通しのようなのだ。

基本図形の使い方で劇的に変わる！ 図解力を10倍高める本



中山 真敬・佐藤 正人 著
ソシム
A5版 240頁
本体 1,600円＋税

コツさえわかれば、絵心がなくても大丈夫！ 図解化の基本からオフィスソフト（PowerPoint, Word, Excel）の作図テクニック、そして全312アイテムの描き方を紹介。あなたの企画書の説得力を10倍アップさせる、究極の実践書！

7. 絵がうまくなるポイントとは

僕は絵を描くことが苦手だけど、上手に描きたい気持ちはある。

「デザイナーや芸術家ではないので、シンプルなイラストをたくさん覚えてみてはいかがですか？ この本の例を参考にされてみては？」

本当だ。この本のイラストはすべて、僕でも描ける簡単なものだ。パソコンでの描き方も具体的に示されている。何より、簡単だけどわかりやすく、オシャレなイラストだ。

「人物などは組み合わせだけで、ずいぶんたくさんの表現ができるものですね」

なるほど、これなら僕にもできそうだ。

「東様はいままで、絵を描くのは苦手だからと、あきらめていませんか？」

たしかに、昔から美術や絵はセンスの問題だから、努力しても無駄だと思っていた。

「もしも興味があれば、絵はセンスによるからとあきらめずに、もっとチャレンジしても良いかもしれませんね」

そうかもしれない。図解の可能性だって無限にあるんだから。結局のところ、僕の頭の中が整理できていなかったのではなくて、自分で図解や説明が苦手だと思い込んでいただけなのかもしれない。図解はチャレンジのきっかけになるのだろうか。

そう考えつつ本を読み終えると、いつの間にかマスターはカウンターへと戻っていた。ほんのりと温かい空気だけを残して。

陽介は再びマーカーを手にとると、インクがまだあることを確かめてから、静かにカバンにしまった。

安藤 準

(あんどう ひとし)

大手IT企業で長年、トラブル専門のSEとして勤務。「電車に乗る時間＝ビジネス書を読む時間」で、最近は読んだ本を「Evernote」に記録するのが趣味。

